

授業科目 成人言語障害学演習 II

【担当教員名】 内山 信		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】 成人脳損傷者に生じる言語・コミュニケーション障害（失語および右半球損傷・認知症・頭部外傷などによるコミュニケーション障害）の評価、診断に必要な技法を演習を通して修得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 失語症総合検査の結果に応じて必要な掘り下げ検査を適切に選択し実施できる 失語症に合併する他の高次脳機能障害に関連する検査を適切に選択し実施できる 検査結果を解釈し、考察できる コミュニケーション障害の問題点を抽出できる 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	演習概要			1.3	
2	総合的失語症検査演習 1			1.3	
3	総合的失語症検査演習 2			1.3	
4	掘り下げ検査演習 1			1.3	
5	掘り下げ検査演習 2			1.3	
6	失語症診断演習 1			1.3	
7	失語症診断演習 2			1.3	
8	失語症診断演習 3			2.3	
9	失語症診断演習 4			2.3	
10	失語症診断演習 5			4	
11	失語症治療演習 1			4	
12	失語症治療演習 2			4	
13	失語症治療演習 3			4	
14	失語症治療演習 4			4	
15	まとめ			1-4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		言語聴覚士のための失語症学	波多野和夫、中村光	医歯薬出版	2007・5,000円＋税
参考書		新編言語治療マニュアル 失語症のすべてがわかる本 言語聴覚療法 臨床マニュアル 改訂 第2版	伊藤元信、笹沼澄子 加藤正弘・小嶋知幸 監修 小寺富子 監修	医歯薬出版 講談社 協同医書出版社	2009・6,400円＋税 2006・1,200円＋税 2004・7,140円
その他の資料					
【評価方法】 演習内容（50%）、定期試験（50%）の結果を合算して評価する			【履修上の留意点】		